

FileAccessor

モジュール化

- file_accessor.py
 - ・ ファイルのreadおよびwriteを行う関数をまとめてモジュールとして扱う
 - ・ ただし、readの返り値やwriteで書き込む際は、配列にデータが格納されているものとする
- def read(file_name,separate_word):
 - ・ ファイル読み込み用関数
 - ・ 引数で読み込みたいファイル名(file_name)とそのファイルの分割文字(separate_word)を設定
 - ・ ファイルを読み込んで分割したものを文字列型の配列を返り値とする
- def write(file_name,separate_word,data,mode):
 - ・ ファイル書き込み用関数
 - ・ 引数で書き込み先のファイル名(file_name)、ファイルの分割文字(separate_word)、書き込むデータの配列(data)、ファイルを書き込む時の追記などを行ったモード(mode,デフォルトでは、上書き)を設定
 - ・ ファイルに分割文字によって分割されたデータを書き込む
 - ・ 戻り値はなし